

vol. 14
2022

MU
RA
SA
KI
NO

紫野

びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部
広報誌



小さな大学で 大きく学ぶ

びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部

特集

- 近江鉄道×地域活性化「つなぐ駅長」就任!
- withコロナ withビワガク



近江鉄道

地域活性化

近江鉄道
大学前駅
「つなぐ駅長」就任！
地域を盛り上げる「まちづくり」

高齢化、都市部の人口集中により経営不振に陥った地方鉄道が日本各地で廃線に追い込まれています。近江鉄道も路線縮小や廃止などの報道がされるなか「つなぐ駅長」に就任した「びわこ学院大学 地域調査プロジェクトチーム」。利用促進と地域活性化を目指し、活動の場を広げています。

大学生によるボランティア駅長は全国初！
近江鉄道 大学前駅「つなぐ駅長」に就任

2022年4月1日、びわこ学院大学 地域調査プロジェクトチームは近江鉄道 大学前駅の「つなぐ駅長」に就任しました。この日、プロジェクトチームの6名の学生たちは、つなぐ駅長のジャンパーに袖を通し、駅員の帽子をかぶりました。学生たちは緊張している様子でしたが、しっかりと発車の合図を行い、電車から降りてきた新入生に挨拶し、新しい時刻表を配るなどの初仕事をこなしました。

「つなぐ駅長」としては日野駅に次いで2代目、大学生によるボランティア駅長は全国初の取り組みとなります。

ボランティア駅長「つなぐ駅長」とは、駅施設を活用し、ボランティアで地域の盛り上げ

活動や鉄道の利用促進活動を行う沿線住民のリーダー的な存在。近江鉄道みらいファクトリーが地域住民から選任し、「近江鉄道と地域を繋ぎ、人と人を繋ぎ、地域と地域を繋ぐ」をコンセプトに活動しています。

これからは、近江鉄道みらいファクトリー、地域住民などと連携しながら、大学前駅の美化や、SNSを活用した積極的な発信、MM(モビリティ・マネジメント)教育を担う予定です。

まったなし！喫緊課題の近江鉄道

東近江市内には近江鉄道の駅が13駅あり、その内のひとつである大学前駅はびわこ学院大学から徒歩1分。びわこ学院大学は駅前の一等地に建っており、近江鉄道は、びわこ学院大学の学生にとって大事な交通手段となっ



駅長の活動記録

地域の皆さんと一緒に
駅の清掃活動！ヨシ！



← 沿線の名所やスポットを探しに
フィールドワーク

地元ラジオ番組での広報活動





近江鉄道みらいファクトリー
祝 大学前駅「つなぐ駅長」就任
 2022年4月1日



ています。もちろん、学生だけでなく、地域住民の通勤や通学、また日常生活の移動手段として欠かせない存在です。

近江鉄道は明治29年に敷設されて以来、地域とともに発展していきましが、近年は自家用車の普及、生活様式の変化、少子高齢化、都市部への人口過集中などにより沿線人口は減少し続けています。そのため利用者数は著しく減少し、沿線地域の賑わいも少なくなり、駅前を中心とした商店街も衰退しているのが現状です。

路線縮小や廃止などのニュースがたびたび報道され、どのようにすれば近江鉄道が安定し、沿線地域の活性化にもつながるのか。これはもう「まったなし!」の喫緊の課題です。

「つなぐ駅長」として目指す 地域住民主体の「まちづくり」

こうした状況を憂いて「若者目線から何かおもしろいことを考えよう!」と、2017年5月、子ども学科教授 パンジュイン ゼミ生を中心とした学生有志が「びわこ学院大学 地域調査プロジェクトチーム」を結成。近江鉄道が抱えるさまざまな問題を調査し、地域の人々と連携しながら「どうすれば問題解決につながるか?」と近江鉄道の活用による地域活性化を研究しつづけてきました。

この活動はパン教授の講義の受講生も巻き込んで大規模になり、同じ問題意識を抱えた学生たちが一緒に東近江市内にある近江鉄道の13駅周辺を歩きながら大規模なフィールドワークを実施しました。また、びわこ学院大学生全員を対象に通学状況のアンケート調査を実施し、その結果を考察しながら、学生目線で考えた「地域よし、学生よし、鉄道よし」の三方よし

の通学プランを提案しました。

他にも、私たちプロジェクトチームは、東近江市から委託研究を受けた「万葉 あかね線の利用状況」アンケート調査の実施や、写真展「近江鉄道13景 in 東近江」の開催、近江鉄道ED314保存活用のためのクラウドファンディングの実施、滋賀県・東近江市・近江鉄道の産官学連携で「地域公共交通を維持確保していくためのモビリティ・マネジメント」研究プロジェクトなどの活動を行ってきました。

現在、近江鉄道は33駅あり、その内19駅は終日無人駅です。鉄道と地域が触れ合う機会が減少している中、「つなぐ駅長」こと、びわこ学院大学地域調査プロジェクトチームは、これからも学生が中心となって近江鉄道と地域をつなぎ、行政や企業等と連携して、地域住民主体の「まちづくり」に繋げていきます。



今後の活動目標

- ✓ 近江鉄道沿線を紹介したガイドマップの作成!
- ✓ SNSを使った近江鉄道及び地域のPR活動・広報活動を発信!
- ✓ 大学前駅の清掃、環境美化に継続的に取り組む!
- ✓ 他駅のつなぐ駅長と情報共有!



授業の ありかた

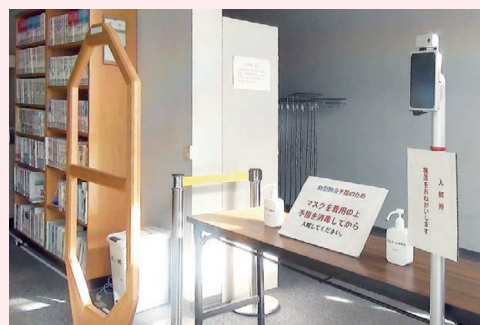
本学では、新型コロナウイルス感染症対策として、学内のポータルサイト機能等も活用しながら、オンラインやオンデマンドでの授業に迅速に対応してまいりました。そして対面授業になった現在でも、各教員が身につけたこれらの知識や技能を応用し、さらなる教育の質の保証と向上に努めてまいりたいと考えて

おります。具体的には、例えば本学の学びの特長として、少人数教育を基調としながら、これまでも個々の学生へのきめ細やかな指導を行ってまいりました。今後はさらに対面でなくても各学生への個別の指導や面談等ができるよう、Web会議ツールを積極的に活用していきたいと考えております。また、対面授業でもオンデマンドによる動画や教材を配信することで、学生の復習や主体的な学びにつながる環境づくりにも努めてまいりたいと考えております。

教務部長 渡辺 雅幸



オンライン授業の様子



検温と消毒が設置された図書館

何が変わった？びわ学の取り組み



with コロナ

「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』 (文部科学省)

住民税非課税世帯の学生等 20万円
上記以外の学生等 10万円

ノートパソコンの無料貸出

オンライン授業の開始に伴い、
本学の在学学生を対象に無料で貸出

コロナ禍における 学生支援 実績

学修支援金の給付

(給付金額)
学生一人につき、一律20,000円を給付
(給付対象者)
2020年春学期の学費を納入済みの在学学生
もしくは、延納・分納の手続きを行い、2020年春学期の学費を
最終期日までに納入予定の在学学生(ただし、休学中の学生は除く)

学費の延納・分納期日の延長

やむを得ない事情により、
納入期限までに学費の納入が困難な方に
延納・分納を認めています。
新型コロナウイルス感染拡大により
影響を受けられた方にも
学費の納入期日を延長するなど
最大限の配慮を行います。



2020年度

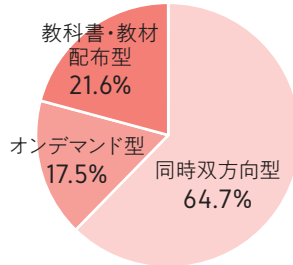
日付	内容	備考
3月	卒業式(中止)	
4月	入学式(中止)	
	授業開始(延期)	
		滋賀県知事より休業要請
5月	対面以外の授業開始	
	・同時双方向型 Zoom、Teams、Google Meets など	
	・オンデマンド型 Youtube、Google Drive など	
	・教科書・教材配布型 ポータルサイト、E-mail、Fax など	
6月	対面授業 一部開始	
	対面授業 拡大	
9月	短大・四大 授業開始	
	すべての科目において対面授業	
3月	卒業式(式典なし)	

2021年度

日付	内容	備考
4月	入学式(式典なし)	
		春学期
4月	対面授業	
		以降、今年度まで通常授業で実施

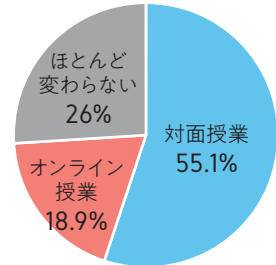
「学生によるオンライン授業に関するアンケートの集計結果(四大+短大部)」
在学者数600人のうち回答者数381人(回答率63.5%)より一部抜粋

履修登録科目
オンライン授業の
受講方法は?



- 同時双方向型 (Zoomなど)
- オンデマンド型 (YouTube、Google Driveなど)
- 教科書・教材配布型 (ポータルサイト、メールなど)

対面授業と
オンライン授業
満足度が高かったのは?



オンライン授業で困った事として、

- ・授業内容が理解できないと課題ができない
 - ・パソコンの不具合などで授業に参加できない時があった
 - ・課題が多い
- などの意見があった。

with ビワガク

新型コロナウイルス感染症対策本部



2020年4月1日、新型コロナウイルス対策本部を設置。
沖田行司学長を本部長とし、学部長、学科長や関係各部で構成し、体制を整えて新型コロナウイルス対策にあたってきました。新型コロナウイルス感染症については連日新たな情報を更新してきました。対策本部では情報収集に留まらず、感染予防のための注意喚起等を行うとともに、今後も状況の変化に迅速に対応するための意思決定をしていきます。

びわ学コロナ時代のこれから

2020年1月に新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されて以降、学生には様々な制限を強いることになりました。学生と教職員の命と健康を守るため、適切な対応をしてきたと考えていますが、その一方で、思い描いていた学生生活を送れない学生たちを見ていると、申し訳ないような、心苦しい気持ちになりました。そんな制限だらけの学生生活の中でも、工夫しながら楽しみ、努力する学生の姿にいつも元気をもらっていました。

2023年5月に5類感染症になることで、感染症対策は個人の判断がベースになり、今までのような制限はほとんどなくなることでしょう。部・サークル活動やボランティア活動、大学祭、就職活動など、大学生らしい自由でいきいきした姿が戻ってくることを願っています。また、コロナ禍を経験した学生は、オンライン授業の普及によりデジタルに強くなり、前例のない環境下でのイベント企画でも力を付けました。学生の皆さんには、この3年間でプラスになったことに目を向け、自信をもってポストコロナ時代を迎えてほしいと思います。

養護教諭 原結歌



昨年度に続き今年度も最多採択! 大学地域連携課題解決支援事業

「大学地域連携課題解決支援事業」は、環びわ湖大学・地域コンソーシアムが地域の課題解決や地域の魅力発見を目的とし、県内大学に取り組みを募集され、応募された取り組みから支援する活動を選考されます。本学は2021年度に続き、2022年度も最多の採択をいただきました。



大学地域連携課題解決支援事業2022 採択事業一覧

No	自治体	大学	取組テーマ	
新規	1	草津市	立命館大学	キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォークアブルなまちづくり
	2	草津市	立命館大学	サルベージレシピの活用による食品ロス削減と循環型社会形成
	3	彦根市	成安造形大学	彦根マリアアートプロジェクト
	4	大津市	成安造形大学	店舗から排出されるゴミ問題に着目したアップサイクルデザイン
	5	草津市	龍谷大学	ウィズコロナにおけるフードドライブ事業支援
	6	東近江市	びわこ学院大学	「手をあげてわたろう」運動啓発動画DVDの制作
	7	長浜市	長浜バイオ大学	滋賀県の稲作を害虫被害から守り地域の方へ稲作の魅力を発信
	8	滋賀県	びわこ学院大学	「親子で考えよう! 今どきのコミュニケーション」安全なペアレンタルコントロールの啓発活動
	9	大津市	びわこ学院大学	科学館事業に参加をする子どもたちと大学生の関わり方の在り方を求めて -大津市科学館とびわこ学院大学との連携-
継続	1	長浜市	滋賀大学	「サステナビリティ・マップの創造」移住と関係人口を増やす景観・空き家・地域コミュニティの魅力発信
	2	彦根市	聖泉大学	十人十色プロジェクト(性の多様性を知ってもらおう!)
	3	彦根市	滋賀県立大学	Explore Hikone!! ~地域マップの多言語化を通して多文化共生をすすめよう~
	4	滋賀県	龍谷大学	地域の笑顔をSNSで届ける -シニアボランティアのICTツール習得支援-
	5	東近江市	びわこ学院大学	東近江市中心市街地活性化に関する実証的研究
	6	東近江市	びわこ学院大学	ポストコロナにおける、水泳を苦手とする児童を対象とした大学生による水泳教室 ~運動介入による小大連携への模索~
	7	東近江市	びわこリハビリテーション専門職大学	いきいき生活プロジェクト -頭と体のリフレッシュ-
	8	長浜市	長浜バイオ大学	びわ湖の森の生き物「トチノキ」の電顕画像を発信する
	9	長浜市	長浜バイオ大学	河川再生プロジェクトと科学に対する学びの場の提供
	10	草津市	龍谷大学	ARコンテンツを用いた草津の魅力発信

環びわ湖大学・地域コンソーシアムWEBサイト【大学地域連携課題解決支援事業2022】活動提案の採択結果について より



「手をあげてわたろう」運動



東近江市中心市街地活性化プロジェクト



科学館事業に参加する子どもたちと大学生



水泳が苦手な児童への水泳教室

第24回近畿クラシックパワーリフティング選手権大会 74kg級JR部門で優勝!

本学スポーツ教育学科4年生の平尾響さんが、第24回近畿クラシックパワーリフティング選手権大会74kg級JR部門で優勝しました!スクワット、デッドリフト、トータル(スクワット+ベンチプレス+デッドリフト)の3種目で滋賀県記録を更新し、優秀新人賞も獲得しました。



— 主な成績 —
2022.6.26
第24回近畿クラシック
パワーリフティング選手権大会
74kg級JR 優勝 優秀新人賞
SQ 200kg BP 125kg
DL 230kg Total 555kg
2022.12.25
第13回赤穂忠臣蔵パワーリフティング
74kg級JR 優勝
SQ 225kg BP 140kg
DL 255kg Total 620kg など

SQ:スクワット BP:ベンチプレス DL:デッドリフト

おい町まちづくりアイデアコンテスト 特別賞受賞

スポーツ教育学科の原田ゼミの学生たちが、2022年11/13に福井県大飯郡おい町で開催された「おい町まちづくりアイデアコンテスト」に参加し、今後のまちづくりに活かせるアイデアを提案したとして特別賞を受賞しました。

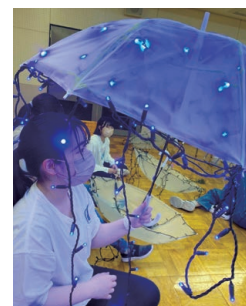
原田ゼミは、2021年10月24日に開催された「日本スポーツ産業学会スポーツ政策学生会議2021 (Sport Policy for Japan 2021)」でも研究発表を評価され、特別賞を受賞しており2年連続の受賞となります。



おい町まちづくりアイデアコンテストで受賞した学生たち



多くの大学が集まった「おい町まちづくりアイデアコンテスト」



スポーツ政策学生会議2021で研究発表！

日本スポーツ産業学会 スポーツ政策学生会議2021 (Sport Policy for Japan 2021) が2021年10月24日に開催されました。

本学、北川椋太さん、西田涼平さん、三田真一郎さんが「スポーツ施設提言—これからの指定管理者制度—」のテーマで研究発表をし、「特別賞」を受賞しました。

発表、表彰式はオンラインで開催され、表彰状と学会誌投稿に向け研究助成をいただきました。

現在、日本スポーツ産業学会「スポーツ産業学研究」掲載に向けブラッシュアップを頑張っています。



コトナリエ2022

清掃から展示の準備、当日の運営まで 本学の学生がボランティアで参加

地元東近江市のサマーフェスタ「コトナリエ」は、廃食油を利用したエコなイルミネーションの祭典です。毎年、本学の学生たちがボランティアで参加し、清掃から展示の準備、当日の運営もお手伝いしています。地域の幅広い年齢層の方との交流は、大きな成長に繋がります!

また、7/2(土)と7/3(日)の2日間、子ども学科の和田健一ゼミの学生たちが、園児・児童を対象としたイルミネーションづくりのワークショップを開催し、約90名の親子連れで賑わいました。造形的な表現活動の実践により、地域貢献の一助となればと、学生たちが8年前から企画・運営しています。



大学地域交流フェスタ 2021で、テーマ発表

環びわ湖大学・地域コンソーシアム「大学地域交流フェスタ2021」がオンラインで開催され、「大学地域連携課題解決支援事業」の中間活動報告が行われました。本学の学生たちもさまざまなテーマで発表を行いました!



滋賀県×びわこ学院大学

大学生による子どもたちへの
性犯罪予防のSNSの使い方啓発活動

大津市×びわこ学院大学

就学前児童から科学の面白さを体感させる
実験・ものづくりプロジェクト

東近江市×びわこ学院大学

東近江市中心市街地活性化に関する実証的研究

東近江市×びわこ学院大学

子どもの手がた足がたを用いたオリジナルグッズづくりを通して、
楽しもう、知ろう、広めようオレンジリボン運動×SDGs

東近江市×びわこ学院大学

ポストコロナにおける
大学生によるカナヅチ児童を対象とした水泳教室

#イチナリエ



広報ボランティアサークルの学生たちが、地域のイルミネーションの飾り付けを行いました。
地域に根ざした大学ならではの取り組みを通して、学生同士の絆も深まりました！



11/3(木・祝)大学祭『紅葉賀祭』
3年ぶりの開催となった吉本の芸人さんによる「お笑いライブ」やクラブ・サークルの発表、模擬店などを行いました。フィナーレは晩秋の夜空を彩る連発花火でした！

#紅葉賀祭

#新入生オリエンテーリング



スポーツ教育学科が新入生オリエンテーリングを実施！1~4年生がグループごとに地域のチェックポイントを回り、学生間の友好を深めました。



児童学コースの学生によるゴミの運動！
キャンパス周辺を綺麗にしてくれてありがとう

#ゴミ0運動

#体力測定会



スポーツ教育学科の2年生が、東近江市平田地区の高齢者を対象に「体力測定会」を実施しました。
測定したデータをもとに、体力を分析し、体力アップのメニューを考え、2~3月頃に学生たちが健康教室を企画・運営します。
地域の方との関わることで、社会人として必要なコミュニケーション力、実践力を磨いています。



子ども学科の榎本祐子ゼミが、『オレンジリボン運動エコバッグ作成イベント』を開催。
今年度は、11/24に「八日市子育て支援センター」、11/27に「はまはびひろば」、12/7に「大学附属こども園あっぷる」でイベントを行いました。
東近江市こども相談支援課との連携や、榎本祐子ゼミ生以外もオレンジリボン運動に参加してくれるなど活動の輪が広がっています。

#オレンジリボン

#わくわくサイエンス



子ども学科箱家ゼミの3年生が大津市科学館で幼児から小学生を対象に「わくわくサイエンス」を開催しました。
2つの薬品を混ぜるとドロドロとした粘性の高い物質に変わる実験で、おもしろがってかきまぜ棒をまわす子どもたちとその保護者、そして学生も楽しい時間を過ごしました。

#オープンキャンパス



8/27(日)にこの夏最後のオープンキャンパスを開催しました。暑い中たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました！運営をサポートする学生ナビゲーターたちも全5回の夏オープンキャンパスを通して大きく成長してくれました。

#くれよん



子どもボランティアサークル「くれよん」の学生たちが、地域の子どもたちを対象に『冬の運動会』を開催しました。しっぽとりゲーム・障害物リレー・ジェスチャーゲームなど、子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました！

#冬の運動会

#ようかいち太子マルシェ



『ようかいち太子マルシェ』で、榎本祐子ゼミを中心に作成したオレンジリボンからたて遊ぶイベントを実施しました。当日の運営はパンゼミと共同で実施し、東近江市子ども相談支援課の方も児童虐待防止啓発活動の応援にかけつけてくださりました。各ゼミの長所を活かして連携し、地域貢献活動に取り組んでいます！



#東近江市ドラゴンカヌー大会

スポーツ教育学科「スポーツボランティア論」受講の学生たちが3年振りに開催された「第17回東近江市ドラゴンカヌー大会」の運営ボランティアに参加しました。

前日には、スポーツ教育学科竹内研究室がドラゴンカヌー体験会に参加させていただき、まさに地域のスポーツから「する」「見る」「支える」の関わりを学びさせていただきました。

#BGUキッズ



東近江市や総合型地域スポーツクラブと連携した小学生向けのプログラム『BGUキッズ』スポーツ教育学科の学生が地域で運動教室実施中!! さまざまな運動プログラムを企画し、地域の子どもたちと一緒に楽しみながら学びを深めます。

#東近江市 スポーツ少年団運動適性テスト



机上知識から実践へ! スポーツ教育学科7年生が地域から学びの場を提供いただき、東近江市 スポーツ少年団運動適性テストの測定を実施しました。

#Hashtag びわ学の“イマ”

びわ学の
instagramはこちら→
@biwagaku





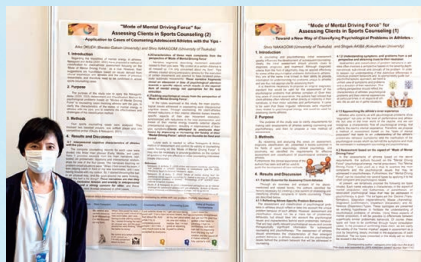
教育福祉学部 子ども学科
奥田 愛子 教授

このたび令和4年度学長裁量経費の支援を受け、マレーシア、ボルネオ島（サラワク州クチン市）で開催された「第9回アジア南太平洋スポーツ心理学会（ASPASP2022:8/9～11）」に出かけてきました。



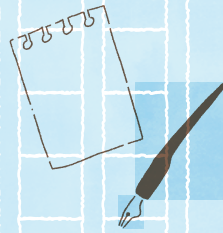
参加者の方と会場の入り口で

ここ数年の私の研究テーマは、「カウンセリングによるアスリートへの心理サポートの『何が』『どのように』彼らのパフォーマンス発揮や心理的成長に寄与しているのか」であることから、本学会では、トップアスリートのカウンセリング経過を題材に発表しました。



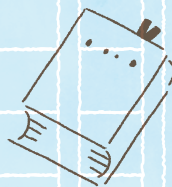
発表ポスターの前で

おおよそ4年に1度の本学会は、アジア・オセアニア諸国を中心に欧米諸国からも多くの研究者が集う大規模なものですが、コロナ禍の今回はやや小さなスケールの会となりました。それでも、発表時にはたくさんの質問や意見交換により、今後のエネルギーをチャージすることができました。



教授からの便り。

／ 教員活動報告 ／



教育福祉学部 スポーツ教育学科
高木 俊 講師

私の専門はスポーツ生理学で、特にスポーツ活動時における筋肉中の酸素濃度変化について研究を進めています。

今回、科学研究費補助金（基盤研究C）に研究代表者として採択されている本研究の成果の一部を9月18～23日にスイス連邦のアスコナで開催された国際学会（ISOTT 2022）にて発表してまいりました（写真は現地の美しい風景です）。

また、今回は、高名な海外の研究者たちと私の計3名で学会賞審査委員を担当させて頂く機会にも恵まれました。今後も積極的な研究活動と国際学術交流を継続することで本学のプレゼンスを高めると同時に、最新の研究成果を日々の教育活動に還元することで質の高い教育を目指していきます。



アスコナの景色



アスコナの街並み

出前授業 体験講座

大学の持つ知的財産を地域に還元

本学独自の地域貢献事業として、「プレカレッジ」と「ユーカレッジ」を実施しています。プレカレッジは、高校生や中学生を対象に、大学での授業を入学前に体験する出前授業や、本学教員の持つ専門性を活かした講演を実施しています。ユーカレッジは、地域のみなさまを対象とし、本学教員による講演や体験型の講座など、生涯にわたって様々な学習活動ができる機会を提供しています。

2022年度プレカレッジ開催実績一覧

開催日	関連高校	教員	開催日	関連高校	教員
2022/05/24	滋賀県立八幡工業高等学校	内藤	2022/11/07	東近江市立朝桜中学校	内藤
2022/07/13	滋賀学園高等学校	内藤	2022/11/16	滋賀県立国際情報高等学校	岩崎
2022/07/15	滋賀県立聾話学校	内藤	2022/11/28	滋賀県立八幡商業高等学校	山
2022/07/19	滋賀県立彦根工業高等学校	内藤	2022/11/28	滋賀県立八幡商業高等学校	片山
2022/09/20	滋賀県立能登川高等学校	内藤	2022/11/29	滋賀県立八幡商業高等学校	山
2022/10/05	滋賀県立八幡商業高等学校	竹下	2022/11/29	滋賀県立八幡商業高等学校	片山
2022/10/06	近江八幡市立八幡東中学校	竹内	2022/12/07	滋賀県立日野高等学校	内藤
2022/10/06	近江八幡市立八幡東中学校	山ノ井	2022/12/14	滋賀県立国際情報高等学校	内藤
2022/10/21	滋賀県立日野高等学校	原田	2023/01/11	滋賀県立甲南高等学校	内藤
2022/10/26	滋賀県立水口高等学校	竹内	2023/03/07	滋賀県立日野高等学校	内藤
2022/11/01	滋賀県立石部高等学校	内山	2023/03/16	滋賀県立日野高等学校	南
2022/11/04	東近江市立朝桜中学校	内藤			

※3月7日、3月16日は予定です

びわ学プレカレッジ(高校)



教員によるメンタルトレーニングの様子



教員と本学学生による講演

地域の皆さまもご利用ください!

本学専任教員の専門性を活かした地域貢献として、市民の皆さまに向けて地域出前授業を実施しています。各種団体等で研修会を企画される際に、ぜひご利用ください。

いろいろある
授業ジャンル



簡単ストレッチと
自体重のトレーニング

A 教育・子育て

B スポーツ

C 人権・福祉

D 芸術・音楽

E 文化・歴史

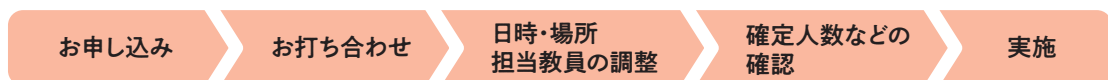
F 情報技術・科学

G 健康・
ライフスタイル

H 環境・防災

I その他

お申し込み～実施までの流れ



びわ学ユーカレッジ(地域)



和太鼓部 雷音

2021年12月26日(日)に近江八幡市で開催された『和太鼓コンサート』に出演しました。



私たちは和太鼓部 雷音です。

和太鼓部は平成26年10月、部に昇格しました。現在は4年生3人、3年生2人、2年生2人、1年生1人の8人で週に2回、放課後18時から19時30分まで活動をしています。

現在、新型コロナウイルスの影響で演奏会が減少していますが、主に福祉施設やお祭りなどから演奏依頼をいただいて、イベントに参加しています。

和太鼓ってむずかしそう!と思う方もいると思いますが、実は部員のほとんどが初心者から始めました。バチを持ち、たたきだけで誰でも簡単にできます。

少しでも興味を持った方はぜひ見学にきてください! 部員も募集中です!

子ども学科
先山 真都梨さん

子どもの頃なりたいしごと

パティシエ



就職が決まった職業

小学校教諭
(滋賀)

「子どもと関わる仕事がしたい」ものの、職業をひとつに決めきれず、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭すべての免許取得をめざしました。学んでいくうちに、小学校教諭が目標となり夢を叶えることができました。子どもたちに信頼され、毎日楽しく過ごすことができる学級を作りたいです。

スポーツ教育学科
藤原 直孝さん

子どもの頃なりたいしごと

プロサッカー選手



就職が決まった職業

販売・営業職
株式会社 平和堂

生まれ育った滋賀県の企業で働きたいと思ったので、地域に根付き、愛され続けている「平和堂」への就職を希望しました。ゼミやサッカー部の活動を通して学んだことを仕事に活かし、お客様の豊かな暮らしに貢献できる社員になれるように全力で頑張っています。

2023年卒業生にインタビュー

子どもの頃
なりたいしごと

就職が決まった
職業

为什么呢？

ライフデザイン学科 児童学コース
森澤 るのさん

子どもの頃なりたいしごと

保育士



就職が決まった職業

保育士
社会福祉法人阿育会
ふたばこども園

小さい頃に保育所でお世話になった担任の先生が大好きで保育士をめざしました。その先生が、今も私の母園におられることから就職先を母園に決めました。4月からは憧れの先生の元で保育について学び、いつも笑顔で優しい先生になれるように頑張りたいです。

ライフデザイン学科 健康福祉コース
垣内 彩花さん

子どもの頃なりたいしごと

介護福祉士



就職が決まった職業

介護福祉士
医療法人社団 董会
介護老人保険施設野洲すみれ苑

小さい頃からお年寄りの方と関わるが多かったので、自然と介護福祉士という仕事に興味を持っていました。介護福祉士として就職が決まりましたが、まだまだ未熟なので、利用者の方に安心してもらえる介護ができるよう、これからも努力を続けていきたいです。

ライフデザイン学科 キャリアデザインコース
栞原 由奈さん

子どもの頃なりたいしごと

雑貨の
デザイナー



就職が決まった職業

JA職員
全国農業協同組合連合会
滋賀県本部 (JA全農しが)

子どもの頃から雑貨が大好きで、将来は人の心を動かせるような雑貨を作りたいと思っていました。これからは地域の方に寄り添いながら、農業の素晴らしさや食の魅力を一人でも多くの方に知っていただき、「人の心を動かせる職員」をめざしていきたいです。




大学生になった
自分を想像してみる。
やるべきことが
少しずつ見えてきた。
さあ、前に進もう。



今年毎月
イベント開催中

OPEN CAMPUS 2023

4月 OC 4/23 SUN	5月 OC 5/28 SUN	6月 OC 6/11 SUN	 ▲ OPEN CAMPUS Web page
7月 OC 7/23 SUN	8月 OC 8/5 SAT	OC 8/20 SUN	
9月 AO説明会&入試相談会 9/10 SUN	10月 OC 10/22 SUN	11月 AO説明会&入試相談会 11/3 FRI	
		12月 職業イベント 12/10 SUN	

■ 対象

高校生全学年
受験希望者
保護者・付添歓迎

■ アクセス

無料送迎バス運行
JR近江八幡駅発着
駐車場完備
マイカーでの参加歓迎



お問い合わせ

びわこ学院大学入学センター

☎ 0748-35-0006 (直通)

✉ cl-admin@newton.ac.jp